

上田令子

うえだ
れいこ



～ズルいことは、ゆるさない。常時改革実現中！～

〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18 tel&fax 03-3878-9032 uedareiko@gmail.com

上田令子

検索



小池都政に忖度せず一刀両断！

令和6年12月第4回定例会一般質問

学校問題を教員が教育委員会に直接通報して良いことを明らかに

Q 「生徒も受け入れてくれた。」おぞましい主張をし、教え子に性的暴行を加えた元校長に昨年12月懲役9年の判決が下った。学校服務事故は、校長対応だが肝心の校長が事故者の場合はどうするのか？

A 教員から区市町村教育委員会に情報提供し、同委員会は事実確認を行った上で、都教育委員会に対して事故報告を行う。これを踏まえ、都教育委員会は厳正に対処する。

これまで教職員は校長を通さないと動けませんでした、事故や不正を発見したら教育委員会へ直接報告できることを確認しました。先生方は安心して迷わず通報して下さい！



都民ファーストの会版キックバック問題
またしても小池知事は答弁拒否

Q 自民党都連キックバック裏金問題が取りざたされているが、都民ファーストの会も所属議員が合計2,800万円も寄附を受けている。政治資金パーティーをまだ行っているがまたキックバックと疑われるような寄附をするのか知事に伺う

A (小池知事答弁拒否→政策企画局長答弁) 知事が議会等これまで様々な場面で伝えたとおり

もはや“虚偽答弁”レベル?!一度たりとも上田に伝えられたことはありません。さらに、公務員に地方公務員法に抵触する政治姿勢を答弁させた小池知事の違法精神の欠如は「首長」としてあるまじき態度です！

不正報酬でぼろ儲け? 過剰診療の闇を突く!

Q 綾瀬病院では、訪問看護の不正受給があった。任意入院100%の年にも審査会へ退院請求が出ており、いうことを聞かせるために、患者へ電気ショックなど苦痛を伴う医療を施すことはないか、懸念する。同意に基づかない不要な入院及び過剰診療とその不正請求につき、都はどうか把握・対応してるのか

A 適正な管理運営等について確認するため立入検査を実施し、法令違反がある場合は、改善指導。

抜き打ち調査を断行し患者の命を弄ぶ医師に鉄槌を!

拙速な再工ネ暴走が止まらない! 伊豆諸島風力発電に喝!

Q 小池知事は、海外出張中のCOP29にて、伊豆諸島に浮体式洋上風力発電所建設を目指す突如表明。景観破壊の懸念、台風も多く、海流も速い自然環境にあり本土まで海底送電線を引くのか、都と国と事業者の責任、コストの分界点、送電線の有無も含め、謎だらけ。詳細ご説明を。

A 自然環境や景観については地元の方々の意見聴取と調査を実施。洋上風力の建設は、再工ネ海域利用法によれば、事業者が実施。

海底送電線や電力輸送船舶費用まで事業者が負担できるわけがない! 税金投入とならぬよう監視続けます

上田令子

よりぬき 一問一答集



第4回定例会一般質問
動画はこちらから→



令和6年10月令和5年度決算特別委員会

太陽光パネル設置で採算が合う期間が延びた?!

Q ウクライナ侵攻以降燃料コストが急騰し太陽光パネル義務化条例制定前とは激変している。小池知事が示したようにパネル設置によって本当に「6年間で元が取れる」のか?

A 令和5年8月時点の試算では、初期費用は8年程度(驚!!)で回収可能

次の試算は10年となりその内採算合う前に故障するかもしれません。将来後悔しないよう、以下を是非ご参考にして下さい。

information

都民のための

太陽光パネル義務化条例対策コーナー



7つの問題点

- 1 都民に事実上拒否権があることを積極的に周知していない
- 2 災害時の消火・感電対策をどうするのか(江戸川区などでは大規模水害が想定されており、パネル水没時や火災で放水する場合の感電対策が徹底されていない。消防団に消火方法が指導されていない)
- 3 災害などで太陽光パネルを原因とした被害に遭っても、都はその支援・補償を明言していない
- 4 パネルを設置しても気温低下に1℃も貢献しない
- 5 長期的に採算が合わない(付帯設備の交換や撤去・廃棄・更新費用などのコストが含まれていない)
- 6 廃棄・リサイクル対策が確定していない(リサイクル業者は全国僅か40社。パネルの不法投棄が懸念される)
- 7 強制労働が疑われる、中国新疆ウイグル自治区製パネルが混入しかねない

江戸川区民・都民の皆様には設置の義務はありません(義務があるのはハウスメーカー事業者)

不要と思えば拒否ができます。新築住宅を購入する場合、パネル設置建売を避ける、注文住宅であれば設計時に「太陽光パネル設置無用」と伝えれば良いだけの話です。事業者に何か言われたら「上田都議と相談して設置しないと決めた」と伝えて下さい!



都議選目前！税金の無駄遣い“東京大噴水”令和7年度予算には反対！

都税収は前年度比8.5%増の6兆9,296億円で、予算規模は前年度対比7.8%増の17兆8,497億円、一般会計は8.3%増の9兆1,580億円、**新規事業712件、約3,359億円（江戸川区一般会計予算に匹敵！）**も含め**6年連続過去最大予算**となりました。

また、昨年、能登半島地震や阪神・淡路大震災からの教訓を受け、災害対策が重要視されています。阪神・淡路大震災から30年が経過し、震災を経験していない世代が増えている中で、震災の教訓を次世代に伝えることの重要性が再認識されています。予算案では「世界一安全・安心で強靱な都市」を目指し、災害に強いまちづくりを進める「TOKYO強靱化プロジェクト」が推進されます。特に、江戸川区を含む東部低地帯での浸水対策や高台まちづくり事業の早期実施が求められています。一方、東部低地帯である江戸川区において、小松川第2ポンプ所工事が完了していませんことから早急な完成を求めています。



税収好調の今こそ 未来のために儉約を！



税収が好調な今こそ、バラマキを抑制し災害対策や超少子高齢化に備え、均衡財政の徹底が必要です。所謂「借金」である都債は減少傾向にある一方、都の「貯金」である財政調整基金は、令和元年度末時点で約1兆円（9,300億円）あったものが、令和6年度末は7,157億円です。不確実な社会情勢を考え、さらなる借金削減と貯蓄の強化が求められます。

大腸菌噴霧？！年間3千万人？！ 疑問噴出の“大噴水”

昨年度のプロジェクションマッピングに続く令和7年度の颯爽事業は、**総工費26億円・年間維持費最大1.5~2億円**のお台場海浜公園噴水整備（ODAIBAファウンテン）です。都が地域要望としたのは主に企業で形成されるフジサンケイグループ日枝久氏を理事長とする「臨海副都心まちづくり協議会」であることが判明。設置予定水域の水質測定では季節によって最大で9,000倍もの大腸菌が発生していることを追及すると、「海水」使用前提から都民には節水を呼び掛けている「上水」を利用すると突如答弁が翻る無計画さが露呈しました。都は、年間3,000万人の観覧者を見込むとのことですが、東京ディズニーリゾート来園者数の2,950万人に匹敵し、見込みが甘過ぎるとの本会の指摘はメディアでも報道され新たな問題提起のキッカケとなりました。



既存樹木・文化を破壊して 江戸・東京文化を守れるはずなし



神宮外苑再開発での樹木伐採は「小池知事当選後すぐ伐採」との予測通り進行。葛西臨海水族園では淡水生物館や水辺も解体されました。伐採延期や計画変更が審議される異例の事態にもかかわらず、対話の場が設けられず、全国的な批判を招いています。一方、日比谷公園の噴水広場を含め都内各地で樹木が伐採される中、小池知事は「江戸・東京文化の世界遺産登録」を公約としています。しかし、歴史ある町並みを残してこそ価値が高まり、世界遺産にふさわしいと強く指摘します。



巨額約800億円「東京アプリ」 自由を守る会だけが反対！ (令和6年度補正予算)



社会的意義のある活動等でポイントを付与することで、将来的にはマイナカード取得誘導を目的とする都が提供するスマートフォン向け「東京アプリ」。スマホが使えない都民は利用できないというのに都民以外も利用が可能は大問題です。アプリポイントをぶら下げて都民以外まで囲い込むポイント付与の費用790億円、今どき開発費や事務費で9億4千万円がかかるということも理解ができません。IT巨大企業が買える800億円もかけて、マイナカード登録者増に至らなかった場合どうするのか？！都議会では唯一、我々会派だけが反対致しました！



聞こえの良い 起業家支援・再エネ推進事業に 警鐘を鳴らす



スマートシティ政策の一環として525億円が投じられるスタートアップ支援事業ですが、東京に根付かず海外展開する起業家・企業も多く、都が投資しても回収できるのか疑問です。一方、「ゼロエミッション東京の実現」には3,011億円が計上されましたが、CO2削減や気温低下の効果は不明。小池知事はCOP29で9.3億円を投じ伊豆諸島に洋上風力発電所建設を表明し、4月からは批判の多い太陽光パネル義務化条例が施行されます。炭素クレジット活用も「グリーンウォッシュ」との批判もあり、中小企業の負担増や税金の浪費が懸念されます。米国ではトランプ政権誕生早々「脱・脱炭素」を表明していることから行き過ぎた再エネ政策の早急な見直しが必要です。



偽りの チルドレンファーストに疑義を呈す！



「不安や悩みを抱える子供と家庭への支援」として290億円が計上されましたが、「若者のチャレンジ支援」としながら、都版海外留学制度や都立大生向け支援は対象が限定的。小中学生の自殺者数が過去最多となる中、ヤングケアラーや不登校、ト一横問題への支援こそさらに手厚くすべきです。また、格差是正の観点から、教育・子育て助成の所得制限全面撤廃を爆速で推進すべきです。



小池都政は歴史に学べ！令和7年度予算

新規事業は過去最多となり、平成25年度の800億円から4倍に増加し、聞こえがいいが都民生活に直結しないバラマキ・娯楽事業、ゼロエミ・DX等不要不急事業満載です。福祉など切るに切れない義務的経費にシッカリ投資すべきなのです！



「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」—ドイツの鉄血宰相ビスマルクの言葉です。



「パン(食料≒バラマキ)とサーカス(娯楽≒プロジェクションマッピング・ODAIBAファウンテン)」

という愚民政策がローマ衰退の一因となった歴史に学ぶべきです。地域政党自由を守る会は強い疑義を呈し、本予算は都政を私物化する愚民政策による「都議選直前巨額税金バラマキ無駄遣い大噴水予算」と断じ反対致しました。引き続き是正や中止を求めてまいります。



「地域課題を解決したい」「ここがヘンだよ東京都！」
「身の回りのこと・各種行政相談をしたい」etc....



都議会-NEWS 2025 発行人／東京都議会議員(江戸川区選出)上田令子
〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18 Tel&Fax:03-3878-9032 Mail:uedareiko@gmail.com

うえだれいこプロフィール

台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大学国文科卒。外資系生保等を経て起業も。2007~12年江戸川区議会議員、2013年東京都議会議員初当選以来、連続当選の3期目。経済・港湾委員会理事、地域政党「自由を守る会」幹事長。